



くれよん あんず組

先日はお忙しい中、保護者会に参加して頂きありがとうございました。保護者の方々との交流も深めることができた良い機会となり、楽しい時間を過ごすことができました。

子どもたちも園での生活にも慣れ、少しずつ自我も出始めている時期となりました。

イヤイヤする姿も増えてきますが、これも成長の過程なので子どもたちの「やりたい！」や

「もっと！」などの気持ちと向き合い受入れながら、言葉や仕草でのやり取りを増やしていけるよう促していきたいと思います。

今回のおたよりでは、クラスで遊んでいるおもちゃを紹介していきたいと思います！

●ポトリンコ●

容器にある穴に様々な形のものを落とすおもちゃです。ポトリンコの穴は入れるものとだいたい同じくらいの大きさになっており、初めは掴んで離すだけで落ちるような大きさと握りやすい丸いものから遊び始めます。

そのうち形や大きさが異なるものへと変わっていき、落とすものと穴の位置を合わせるために向きを変えたり、手首をひねったり、反対の手に持ち替えたりするなど、少し

ずつ手先の複雑な動きが必要なポトリンコで遊ぶようになります。この動きが、食事のスプーンを握る・口まで食材を運ぶなどの動作や、靴、靴下の脱ぎ履きなど生活面で必要な手首・指先の動きに繋がっていきます。

●絵本・布絵本・絵カード●

絵本は大人の膝の上に座って読んでもらったり、お友だちと一緒に読んでもらったり、自分で眺める事もあります。ページをめくることで指先の細かな動きを促したり、知っている物が出てくると「あー」と発したり、ゆびさしをしたり、絵本や絵カードを通して物の名前や色、形の違いを知る事もあります。また、大人が発した言葉の語尾を真似して語彙を獲得する手助けになります。

●身近な素材のおもちゃ●

身近にある物でも子どもたちが楽しく遊べるおもちゃになります。お部屋では、水入りペットボトルの中にビーズを入れた物やガムテープの芯、マジックテープの壁掛けおもちゃなど、手作りのおもちゃも大活躍しています。身近な物でもひと手間加えることで楽しいおもちゃに変身しますので、気になる物があればお家でも作ってみて下さいね！